


■事業計画の変更内容

(仮称)梅田曽根崎計画の実施にあたりまして、外観色彩及び敷地南西角の広場スペースに変更が生じたため、関連する環境影響評価項目である景観について、検討を行いました。

	評価書 (平成 29 年 9 月)	変更案 (現計画)
① 外観色彩の変更	 <p>完成予想図 (全体)</p>	 <p>完成予想図 (全体)</p>
② 広場スペースの拡大	 <p>1 階平面図</p> <p>■延べ面積：約 111,500 m² ■建物高さ：約 193m</p>	 <p>1 階平面図</p> <p>■延べ面積：約 110,000 m² ■建物高さ：変更なし</p>

■景観に関する環境影響の検討結果

本計画の実施にあたりまして、大阪駅周辺地区に相応しい品格ある建物という観点で、計画建物の在り方を再考したところ、梅田エリア最高峰のランドマークとして、都会的で落ち着きをもたせた風格のある建物を目指し、濃いグレー系を基調とした外観としました。なお、『周囲との調和』『品格ある建物』『分節』『ボリューム感の低減』『圧迫感の低減』などの基本方針の考え方に変更はありません。フォトモンタージュ法による本施設完成後の景観予測図 (近景域における評価書と変更案との比較) は別紙に示す通りです。

また、1 階南西側店舗部分の一部外壁を後退させ、南側の曽根崎中州通り及び西側お初天神通りと一体的な広場スペースを拡大することにより、当初より想定していた夏祭りなど地域イベントの場のさらなる充実とともに、人が集い、賑わい溢れる曽根崎地域の新たな魅力創出に資するまちなみ景観を形成します。

以上より、上記 2 つの変更に伴い、環境影響を悪化することはないものと考えます。